

蒲公英

たんぽぽ：宮城野高校同窓会報誌 2010 SP 第13号

MIYAGINO HS
Dousokai 2010





校長挨拶

七代校長 黒川 利司

— ごあいさつ —

平成二十一年四月に宮城野高校に着任いたしました黒川利司（くろかわとしじ）です。宮城県生まれの宮城県育ちです。宮城野高校は、私にとりまして七校目の勤務校になります。本校が平成七年に創立されたとき、まさにパイロットスクールとしてこれまでの高校の殻を破った全く新しい学校であり、新鮮な驚きをもって眺めており、いかそのような学校に勤めてみたいものだという初恋の感情にも似た淡いあこがれを抱いています。定年退職直前になって、やっとその夢が叶いました。実際に赴任して感じたことは、創立当初の理念を今でも大切にしていることです。校則も生徒手帳もない。生徒の自主性を極力尊重することで、協調性・責任感・課題解決力を育成しようという教育姿勢は、高校三年間だけでなく、生徒の十年後、二十年後を見据えた教育方針であると胸を張って言うことができます。宮城野高校の「創造的

自由」とは何か、創立以来これまで十五年間連続として、生徒も教員も問い続け模索し続けてきた課題です。

本校を取り巻く状況は大きく変化しつつあります。全県立高校が男女共学化しましたし、普通科が全県一学区化しました。また、近年近隣の高校が学年制から単位制に移行するなど、中学生から見ると、本校の特色が相対的に薄れつつあるように思われます。しかし、このようなときこそ本校創立の原点に立ち返って、「創造的自由」を獲得し確立する高校でありたいと考えています。

最後になりましたが、同窓会諸兄姉の物心両面にわたるご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。



会長挨拶

二代会長 堀 清志

— 時に幕末の個人を鑑として —

『篤姫』辺りから再び人気が過熱したNHK河ドラマですが、今年の『竜馬伝』も話題になっているようです。幕末は日本史の中でも好む人が多いようですが、激動の時代を生きた人々が自分を省みる鑑としやすいということでしょうか。

幕末の個人では先に触れた『竜馬伝』の主人公、坂本竜馬が特に有名ですが、若者の心情としてはむしろ直情径行の長州の人々の方が親しみやすいかもしれません。長州の人材に大きな影響を与えた人物の筆頭は吉田松陰ですが、この人自身かなり無茶をしています。友人との約束を守るために脱藩する、見聞のために国禁の海外渡航を試みる等々。司馬遼太郎の『世に棲む日』では彼の考えについて、死を覚悟すれば自分の価値観に純粋に生きることができると解釈しているようですが、私のような凡人からすれば実に痛快な生き方に見えます。

あまり単純に見習うのも考えものですが（笑）、思い悩んだり大きな選択を迫られている時には、幕末の個人を鑑として自分を省みるのも悪くないのではないのでしょうか。

2009活動報告 2010活動計画

昨年度は、同窓会自身の活動が一時的に滞った年でした。しかしながら、宮城野高校の卒業生達で構成されたアートティストチームのFROM HOMEが、アートイベントの開催を同窓会に対して持ちかけてくれました。同窓会自体は参加は出来ませんでした。卒業生支援という事業費の枠の中から、イベント予算の一部を支援するという形で協力を行いました。

昨年1月に開かれたイベントは、在校生も出展者として、またはイベントのボランティアとして参加するなど、宮城野高校自体を巻き込んだ大きなイベントとなり、各種メディアにも取り上げられるような大きなイベントとなりました。

今年の会報誌内の特設ページは、彼らからの同窓生の皆さんへの活動報告となります。是非ご覧ください。

引き続きこの年の活動計画です。今年も、年間を通してFROM HOMEと協力して様々な活動を運営していくことになりました。

記事にある文化祭のイベント、これから迎える総会後の懇親会では、彼らに協力してもらい、そして今年の冬にもFROM HOMEのイベントでは、同窓会も参加し協力をしていきます。

同窓会の事業をコラボレーションをしていくというスタイルで一年の活動を計画しています。



FROM HOME



MIYAGINO HS
Dousoukai 2010

同窓会の指針

去年、同窓会は活動が出来ない状態に至りましたが、今年、再起動を行い再び運営と活動を再開しました。

今年以降数年の同窓会の活動指針として「SHOW」という言葉を掲げます。内容としては、宮城野高校を卒業し、活躍している人を在校生に紹介する事で、在校生へ対してのフイードバックを充実させていくこと。また、同窓会の活動自体も多くの卒業生達に知っていただけよう、様々な方面で、同窓会の露出を増やすようにしていくということです。

その「SHOW」を実現するために、会報誌たんぼぼやWEBサイトでさまざまな卒業生や在校生を発掘して紹介していきたいと思えます。

今後同窓会では、日本中で活躍する卒業生の為に、各地区に支部を設置する予定です。会報誌たんぼぼの中に、そういった地区からの特集記事があっても素敵だなと考えています。

そして同窓会では、毎年その年を通して企画協力をする団体や個人を決めてその年のイベントを行うというスタイルを同時にとっていく計画です。今年もFROM HOMEの協力を得て、文化祭への出展を行いました。初めての事で色々大変なことも沢山ありましたが、やはり宮城野の卒業生と共に何かのイベントをやるのはとても素敵な体験です。

今年の経験をケーススタディーとして来年以降の同窓会の活動に生かしていきます。

***年間計画として**

- 3月
タンポポで特集
(在校生+同窓生へ向け)
- 7月
文化祭でイベント
(在校生+一般へ向け)
- 9月
懇親会でイベント
(同窓生へ向け)
- 随時
WEBサイトで特集
イベントの告知など

一つの企画を色々な対象に見せることができるような、年間を通した活動を計画しています。

ということで。宮城野高校同窓会は、同窓会と一緒に素敵なイベントや、行事を企画していただける方を募集しています。会報誌たんぼぼでの特集やWEBサイトでの紹介を致します。同窓生や、在校生に宮城野生のポテンシャルを見せつけてください！ご連絡は以下まで！

“ Miyagino.hs@gmail.com ”

Who's Next? What's Next?

You !?



MIYAGINO HS
Dousoukai 201X

宮城野祭へ参加!



MIYAGINO HS
Dousokai 2010

物理室前の廊下では、視覚効果を利用したトリックアートを設置しました。ある一点から見たときだけ宮城野高校の校章が浮かび上がって見えるというもので、廊下を通る大勢の方の目を惹いています。



中庭においては、「Miyagino OPEN LABO」と題し、FROM HOMEの方々にお願いし、ライブペインティングを行いました。

今回の文化祭のテーマである「みみみみみみみ宮城野祭」に合わせ、7枚のアートボードを用意し、それぞれ「み」から始まるタイトルで7色のテーマカラーを設定し、それに合わせて絵を描いていただきました。1枚は、一般の方々にも参加して描いていただくようなものとした。

ライブペイントという事で、白いアートボードに目の前で作品ができあがっていく様子はとても面白く、多くの方が、足を止め見入っていました。また中庭は、食堂に隣接してい



「Miyagino-LABO 2010」

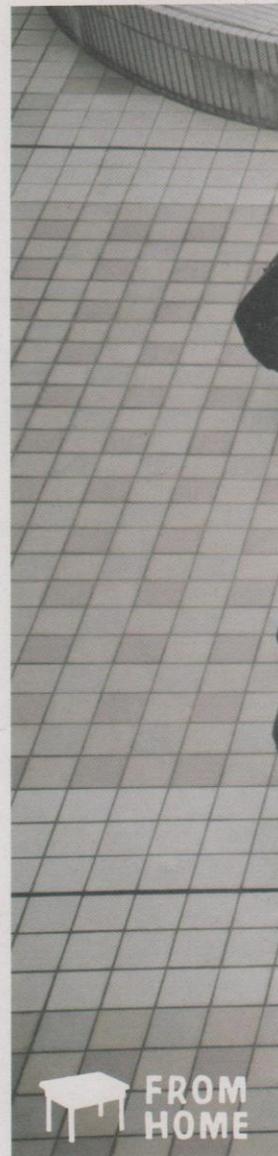


宮城野高校同窓会の再始動の年である今年、在校生に同窓会の活動と、卒業生の活動を広く知ってもらうために、宮城野高校文化祭に出展参加する企画が立ち上がりました。

出展企画のタイトルを「Miyagino-LABO」とし、今回は、卒業生の紹介展示と、卒業生の方々によるライブペインティングと、校内にトリックアートを仕掛けるという3つのイベントを行いました。



物理室においては、「Miyagino PRO LABO」と題し、卒業生24人の職業と、経歴を紹介するパネルを制作、展示しました。今回、パネルで紹介した卒業生の方々は、同窓会役員やFROMHOMEのメンバーからの紹介で連絡をとることができ、協力をお願いすることができました。PTA主催の出し物と共同スペースに展示を行ったこともあり、在校生だけでなく、保護者の方々や、入学予定の中学生達にも展示をみることが出来ました。宮城野高校の良さを知ることができる良い機会になったとの言葉をいただきました。

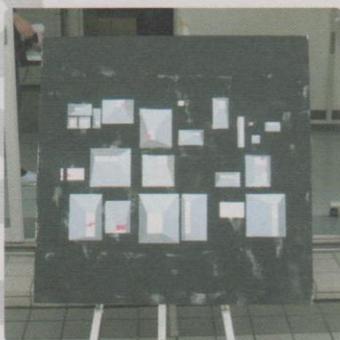


同窓会としても、様々な世界で活躍されている同窓生の方々と繋がることができ、とても有意義な企画となりました。この場を借りて協力いただいた同窓生の方々に感謝をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

この企画は、来年も引き続き開催したいと思っています。協力していただける方を募集しています☆



完成した作品達は、しばらく学校の校長室前に飾らせてもらっています。機会があれば是非見て下さい。下の7枚の絵が、完成したそれぞれの作品です。



feature 2010

総会開催に関して

2年に1度開催していた宮城野高校同窓会総会、今年はその開催年ではありません。9月11日に開催をいたします。総会、その後懇親会という例年通りの流れで進行する予定であります。懇親会では、懐かしい同級生や先生方を囲んで久しぶりのトークを楽しむことも出来ます。参加者の皆様に楽しんでいただける企画も予定しているので、こちらも併せてぜひご参加ください。私達と一緒に、新宮城野高校同窓会をつくっていきましょう。宜しくお願いします。

今年、同窓会の運用ルールが変更され、宮城野同窓会が新たに生まれ変わろうとしている節目の年となります。例年行っている予算案の決議の他に、会則の変更点の報告・決議など、「今後の同窓会について」が議題となる重要な会となります。たくさんの方に新同窓会についてご理解をいただき、また様々な意見を求め

予算に関して

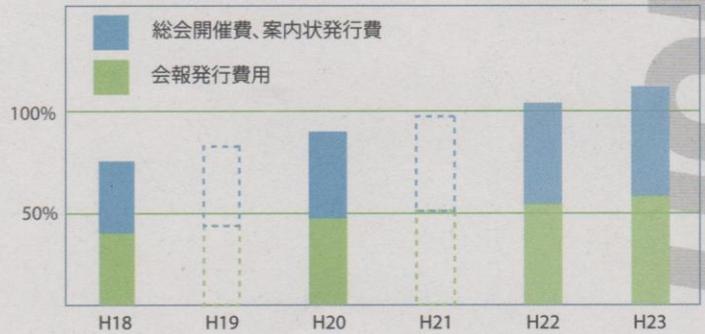
同窓会の運営予算に関してになります。別紙の総会案内にも載せていますが、同窓会の運営が予算上困難な状況に陥りました。

下の予算グラフを見ていただくと一目瞭然ですが、毎年同窓会員の数は増え、支出は続いているのに対し、収入は一定です。そして去年、総会の案内状の送付と、会報誌の発行、配布を行うだけで、収入のほとんどを使ってしまうという状況が発生してしまいました。今年度以降は、会報の発行と総会の案内状だけで、赤字繰り越しが発生し続け、その赤字額は増え続ける一方です。

たいと思いますので、今年の総会はぜひ多くの方に参加をお願いしたいと思っております。

議案のそもそもの成立過程を説明いたしますので、参加が出来ない方も、以下を踏まえての委任状での決議委任をしていただきたいと思います。

収入に対する支出内訳の割合



予算の収入の方法を、従来の在校生からの事前徴収金のみでまかなうのではなく、同窓会自身が何らかの方法で、増え続ける同窓生に対応できるような予算の仕組みを整えねばなりません。しかし、再起動をしたばかりの同窓会では、その是非や具体的な解決策を同窓生全体に問える状態がありません。しばらくは、同窓会の運営をスマート化し、負担を軽減しつつも、同窓会の活動を行えるような運営方法を考えなくてはなりません。その運営方法のスマート化の一つの形として、WEBシ

STEMの導入という案が出てきました。WEB導入することによって、毎年増加し続ける出費を毎年一定額で抑える事が出来るようになります。今年の総会では多くの重要な運営に関わる変更点が出てきますが、その多くは、現在の予算状況の改善策として提出される議案であると言ったことをご理解いただくようお願いいたします。

宮城野高校同窓会 公式Webサイト OPEN!

Access to me!

"www.miyagino-hs.jp"

同窓会のサイトが公開されました。これは正式なものが出来るまでの仮サイトで、告知のみ行います。今年度はウェブへの同窓会の運営システムへの移行を考えており、サーバー内にデータベースを組み入れた実用性の高いものになる案が出ています。今までは、同窓会内の担当者が手作りで作ってききましたが、引き継ぎの難しさや、今後サイトが先のデジタルインフラとしての機能を負うということも考えると、外部へ制作を委託するべきではないかという声が出ており、予算を含め検討中です。

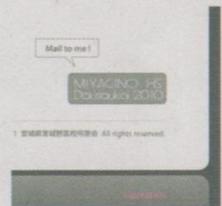
この案件も9月の総会にて議案として提出されます。7月までに仕様を決め、8月に委託先を選定。総会です承されれば、制作を開始。来年の春以降の公開予定です。

仮サイトでの総会や懇親会の参加申し込みも受付中です。不参加にしたけど、やっぱり参加したい! という場合でも随時うけつけています。質問等合わせ、どうぞ気軽にご連絡ください。

宮城県宮城野高校

The new Web site
It will cor

まだ(仮)のサイトですが、同窓会情報の告知等を行います



同窓会の体制

MIYAGINO HS
Dousoukai 2010

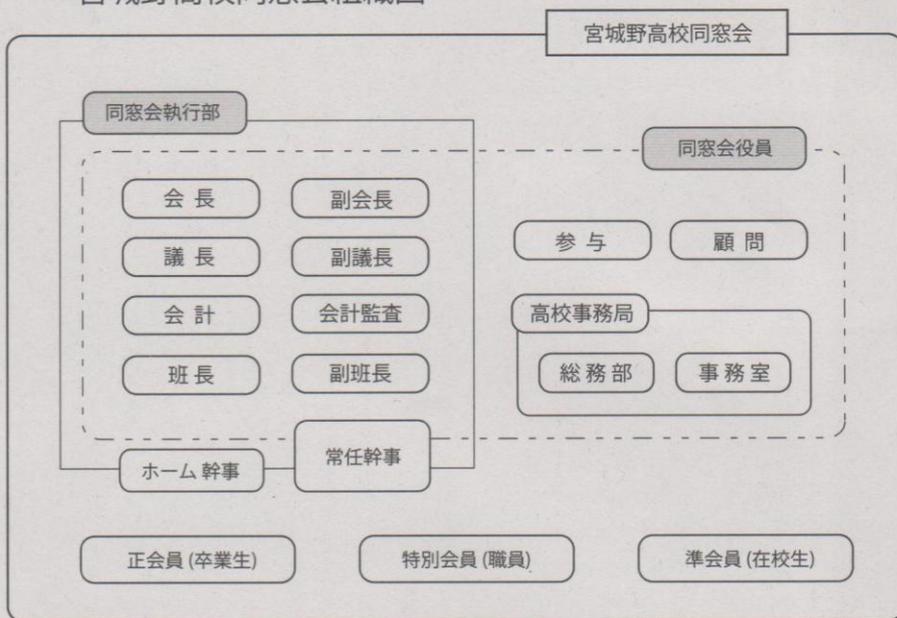
今年度、組織図に変更が加わりました。「同窓会執行部」というものを設け、実際の企画の発案や、運営を行っていきます。以前までの常任幹事で構成された「幹事会」を基幹組織としたものでは、運営が困難な状態でした。そのため、常任幹事達の役割や意味合いに変更を加え、新たな執行機関として執行部を設けたという状況です。

以下に、新しい組織図と、執行部内の役割が書かれた資料を載せてあります。各項目の詳しい内容についてはそれぞれ資料に説明を記しています。新体制で動き出した同窓会をよろしくお願ひします。

各代の常任幹事さん、及び役員の皆様へ

こちらからの連絡が取れない状態です。今後の組織運営についてご相談したいことがありますので是非とも御連絡をいただきたいと思います。 - 現執行部より -

宮城野高校同窓会組織図



班での活動

執行部を設け、その中に各事業を企画運営を担当する「班」を設立しました。班員は、ホーム幹事や常任幹事だけではなく、同窓生全員が対象です。今までは、幹事会でそれぞれの事業の企画を行っていました。しかしそれでは、2ヶ月に一度という幹事会の日程上、企画が具体化するまでに時間がかかり、スムーズな運営が難しい状況でした。そこで、各班にある程度の裁量を与え、各班が班で会議を行い、そこで決まった企画内容や、予算についての了承を幹事会で行うという運営形式をとることになりました。

宮城野祭への準備期間は一月しかありませんでしたが、班での活動が盛んだったために、スムーズに開催する事が出来ました。

宮城野高校同窓会執行部内訳

各役員の責務

会長	=	同窓会代表業務
副会長	=	会長代行業務 + 同窓会名簿管理
会計	会計監査	= 予算案作成、執行 + 会計業務、決算書作成
常任幹事	=	各学年内での連絡
ホーム幹事	=	各HR内の連絡

同窓会活動の基礎活動となる7つのプロジェクト班と議長副議長の主な役割

議長・副議長	=	会議の開催・進行	+	各種議事録作成
総会開催	=	総会・懇親会企画	+	総会の議案作成
同窓会誌発行	=	企画、発行	+	取材、原稿依頼
在校生支援	=	文ボラ体ボラ支援	+	卒業証書バインダー
卒業生支援/事業	=	卒業生支援	+	卒業生との企画事業
同窓会企画	=	卒業生との企画	+	在校生、PTAとの企画
支部助成/運営	=	関東支部支援	+	関西支部支援
Webサイト管理	=	Webサイト更新	+	メールサーバー管理

主な7つの事業

現在まで、同窓会には主立った定期的な活動の予定や、役割というものがありませんでした。そこで同窓会の基本となる7つの事業を立て、それらを毎年の活動予定として計画し、実行していくよう、年間の活動計画を作りました。

まだ活動を始めていないものもありますが、それぞれの班に班長を立て、班自体の活動の目標や長期計画を作成してもらっています。常任幹事や、ホーム幹事には、従来の幹事会の運営とは別の役割を持たせることになりました。各学年やホーム内の同窓生への同窓会からの連絡を届けてもらいます。従来より、ホーム幹事以外の同窓生の参加がしやすくなっています。今年も、文化祭準備の時だけのお手伝いをしてくれた卒業生がいたりしました。幹事以外の方も、ふらっと同窓会に遊びに来てください。

在校生の皆さん初めまして

宮城野高校同窓会の会報誌たんぼぼです。これまで在校生へ配布する機会が無かったのですが、今後たんぼぼは、在校生の皆さんへ向けての同窓会の活動をお知らせする冊子になります。初めてのたんぼぼはいかがでしたか？先輩の活躍やイベントをこれからどんどん紹介していきたいと思えます。在校生の特集もやってきたいと思っていますので、たんぼぼに載りたい！一緒に編集をやってみよう！という人募集しています。たんぼぼをどうぞよろしく。

- Title Image Artist -



中川 和寿 : Kaztoshi Nakagawa

- プロフィール -

仙台を拠点に2000年より活動。「日常を緩やかに紡ぐ」をテーマに、日々の暮らしや自身の演奏する音楽などから想起されるイメージを心象風景画として制作。年に数回のギャラリーでの個展の他、野外イベントやCLUB、LIVE HOUSEでのライブペインティングも行っている。

<http://peliot.exblog.jp/>

- 作品について -

Title : ていねいに日々を読んで
見たことのない景色、聴いたことのない音、ダイレクトに体が反応する物事。それに触れて、縦に振動する感覚。筆。会話。音の場の騒音、煙の風景。日々をていねいに紡ぐ。

- 宮城野高校へ -

「自分の手で何かを創る」という行為の楽しさとしんどさを文字通り体感し、それを自分の最優先事項にしていこうと指針が定まったのは、宮城野高校ですごした時間によってだったと思います。今もつながり、続いているその感覚を指の先に引っ掛けたままいこうと思います。

卒業生の皆様へ
同窓会報誌たんぼぼは、その役割を大きく変えることになりました。予算上の問題があり、従来通り卒業生全員郵送をすることが難しくなってきたからです。今まで会報誌が従来担っていた、会計報告や挨拶、告知等は主にWEBサイトで行うことになる予定です。そして同窓会報誌たんぼぼは、主に在校生へ向けた同窓会の活動を紹介する発行物へと変化していくという議案が出ています。今回は試行版といったところです。新しいたんぼぼはどうでしたか？
総会での議案が可決されると、今後たんぼぼは、主に在校生へ配布され残部を文化祭や、総会時、または希望者への配布という発行形式になります。
たんぼぼの発行形式の変化は同窓会にとって大きな変化であると思えます。総会にて具体的な内容の説明がありますので、是非参加をお願いいたします。

再生
Reborn
今年のテーマは「再生」です。タイトルも「再生」をモチーフとし、4回生の中川和寿さんに制作していただいた絵です。
紙も再生紙系の素材感のある紙を使用しました。是非手にとってページをめくってみてください。
題字はタイトルが完成した後で、たんぼぼの名付け親でもある1回生の阿部真奈美さんに制作をお願いしました。題字はミシンでの縫い目で描かれています。現在バラバラになっちゃってしまっている同窓会や同窓生をたんぼぼで再び繋ぎ合わせたいという祈り込めてこの題字が作成されたとのことです。
さらに今年は、去年の活動報告を



兼ねて、FROMHOMEのメンバーでもある5回生の佐々木翔子さんから、特集の頁をいただきました。新しい会報誌たんぼぼは色々な方の協力を得て、発行に至りました。協力いただいた皆様有り難うございました。
同窓会では会報誌の新しい形を模索中ではありますが、どんな形であれ皆さんに楽しんでいただけるような冊子を目指します。
会報誌たんぼぼをこれからもよろしく願います。

Tampopo Project Team

編集： 國吉 美沙 (11)
編集： 齋藤 歩佳 (11)
編集、デザイン： 阿部 琢哉 (6)

- Special thanks -

中ページデザイン： 佐々木 翔子 (5)
題字制作： 阿部 真奈美 (1)

たんぼぼ 13号 2010.08.12 発行 5000部
同窓会員へ3500部郵送にて配布。在校生、教職員へ1000部配布。
文化祭や総会、オープンスクールでも配布予定です。ぜひどうぞ！
お店や職場でたんぼぼを配布してくれる方を募集しています！
*次号は2011年3月に発行予定です

Staff 募集 !

Tampopo Project Team は一緒に活動してくれるStaffを募集しています。遠隔地にいる方の協力も必要としています。たんぼぼの企画、取材などで協力していただける方、一緒にたんぼぼを作りましょう！

Tampopo Project
2010*2011
- now under the process -

たんぼぼチームは会報誌発行のため、卒業生の発掘や取材等を行っていきます。タンポポに記事を提供していただける方、来年、同窓会とのイベントをやりたい方、連絡をお待ちしています☆

宮城県宮城野高校同窓会報誌
「たんぼぼ」

発行：宮城県宮城野高校同窓会
〒983-0021
仙台市宮城野区田子2丁目36-1
宮城県宮城野高校同窓会事務局

WEB : www.miyagino-hs.jp
E-mail : miyagino-hs@gmail.com
Design : Tampopo Project team
Printing : 千葉印行社